

新潟民商

新潟民主商工会
新潟市中央区沼垂西3丁目10-14
電話 (243) 0141
14年 9月 15日

商工フェア・イン・にいがた開催について

商工フェア実行委員長 細山 俊夫

九月二十八日(日)今年も商工フェアを開催致します。来年に予定される消費税一〇%アップを始めとする、安倍内閣による悪政により、我々小規模、家族経営の仕事・商売は大変な事になっています。しかし、我々民商会員は、こうした状況に負けてはいられません。人々は微力ですが、皆が力を合わせ目標に向かって行動を起す事により、民商の存在感・底力を会外に知らしめればと思っております。

今回は、出店及びステージ出演依頼に対して、会員各位が積極的に協力していただきました。有難う御座いました。出店されるお店には、自分の店のPRをされて今後に繋げて頂ければ幸いです。ステージに出演されている方々は、日頃の練習の成果を披露して頂ければ有難いと思っております。

出店する方、ステージ出演される方、見えない所で運営に参加されている事務局等、三位一体となり成功させたいと思っております。

商工フェア・イン・にいがた 出演スケジュール!

- 10:00 ①黒埼太鼓振興会
- 10:25 ②雲雀会
- 10:50 ③原沢みなこ
- 11:10 ④楽謡会渡辺克子社中
ときの会吉田国子社中
- 11:45 ⑤コシヒカリバンド
- 12:45 ⑥内野町1番街有志
- 13:20 ⑦原沢みなこ
- 13:40 ⑧ハルーン・アーティスト飛鳥
- 14:00 ⑨西内野コミ協吹奏楽部

新潟市長選の候補決まる!

齋藤 裕弁護士出馬(四〇歳)

新潟市長選決起集会

九月二十四日(水)夜予定

会場・県民会館

※全支部から参加しましょう!

・新潟合同法律事務所・BRT住民訴訟代理人
・新潟市民オンブズマン前代表

今後の日程

- ・九月十六日(火) 国保料減免申請学習会
- ・九月二十一日(日) 県母親大会
- ・九月二十八日(日) 商工フェア

●国分総会長の涙の開会のあいさつ

会長は業者、国民の生活と生業の苦渋と政治の横暴や沖繩の無体な辺野古基地建設に怒り、いまだ捕らわれている倉敷民商の事務局長に心寄せ涙しました。第五十一回総会後はじめての理事会は、消費税増を許さない闘いと、憲法を暮らしに生かすために改憲内閣打倒をめざし頑張ろうと宣言しました。

●先の国会で成立した「小規模企業振興法」を地域で生かす日本の政治経済は税金のとり方、使い方が本格的に問われると共に、地域循環型経済への挑戦「戦争か、平和か」をめぐる激しいせめぎ合いになっています。消費税は「社会保障のため」「財政再建のため」とは無縁で財界の法人税減税の穴埋めであり戦争準備税です。先の国会で成立した「小規模企業振興法」は国が小規模企業の振興計画をつくり、地方自治体が地域の条件に適した施策を策定し実施させるものになっています。

新潟市も六月市議会で「中小企業振興基本条例」をつくりました。中小企業のための施策をただお題目にすることなく国の方針を盾にこの秋運動化していくつもりです。「住宅リフォーム制度」も「まちなかりフォーム制度」も制度化が全国的にすすんでいます。

●「消費税を五%に戻せ」、そして厳しい税務行政に組織あげて闘う「また、署名か」という状況を克服しないと一〇%になってしまいます。消費税署名は請願権です。当分、国政選挙がないのですから大切な私たちの意志表示になっています。この秋、一人一〇署名やり抜こうと決意しました。また、税務署の調査も七月以降全国で横行しています。組織上げて対応し「民商の力」を多くの会員・業者に広めていこうということになりました。埼玉県三郷民商の署名の取り組みは感動的でした。なぜいま消費税署名か、を支部・班で話し合い一人一〇署名を成功しています。

●記憶を消し去るまちこわしを から 記憶を重ねるまちづくりへ 地域に業者・生業が存在すること自体、社会貢献だといってきました。町に住み、その町で経済行動をし、町の人たちで感情をあたため安心して生きることがどんなにか尊いことか私たちは知っています。しかし、記憶を消し去るように町がなくなり、これに抗し、私たちの生存権をかけた町づくりをいま、全国で

展開しよう確認した理事会でした。

●地域で私たちが多数派になれば、変わります。商工新聞読者を増やし、民商の理解者、協力者、ともに運動する仲間を増やしていこうと決意しました。

自主記帳で債権管理課交渉へ!

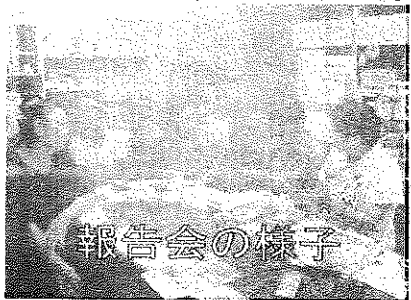
二年前に新設された債権管理課は、未だに厳しい取立てや差押えが強硬的に行われているのが現状です。東区のBさんも滞納問題で民商に入会して以来、何度も課と相談し、集団交渉にも参加してきた一人です。昨年には課の担当から「年金担保融資で借りて納税しろ」と、その後の生活を全く考えない言葉を投げつけられましたが負けじと交渉し、まずは営業と生活の収支を帳面でしっかり付けてみてから、実際に払える額を相談することになっていました。今回の相談でも、「売上が変わりすぎではないか」といった中小業者の事情を全く考慮しない発言などされましたが、Bさん自らが商売の状況や可能な範囲での分納をできるように訴えました。Bさんは今回自ら記帳を試みてみたことで、改めて自分の商売を見直すことができたと言います。帳面は確定申告だけではなく、融資・経営の見直しなど、様々な場面で役立ちます。困った時はまず帳面を見直してみるのも良いかもしれません。

内野・西内野支部で母親大会報告会を開催!

内野支部の卯田さんの呼びかけで、九月六日(土)、会員さん宅に七名(大会参加者四名、他三名)が集まりました。最初に「モンサントの不自然な食べ物」を上映。(二時間)自然界の遺伝的多様性や食の安全、環境への影響、農業に携わる人々の暮らしを意に介さないモンサント社のビジネス。日本市場へも進出しているという事で、危機感を感じました。「TPPについて分かりやすい本があったよ。加工品は表示がないから油、豆腐、ポテトチップス等は要注意!」感想を出し合いました。

大会については、日程にそって報告。以前に参加された方もいて、みんな大絶賛でした。その後は共済会の映画・県母親大会の分科会・商工フェアの出店について話し合いました。

商工フェアでは、卯田さんが優しい施術で健康にしてくれます。内野町商店街も総踊りで盛り上げてくれますよ。乞うご期待!



報告会の様子